



## センター試験終了

— 3年生健闘する —

本格的な受験シーズンの皮切りとなる大学入試センター試験が1月16・17日に行われ、全国の会場で約56万人の受験生が試験に臨みました。

本校3年生は、鹿児島大学農学部で受験しました。1日目は天候に恵まれ穏やかな雰囲気の中、受験することができました。2日目は途中から小雨が降りましたが、体調不良や特別なトラブルもなく、2日間の試験を無事に終えることができました。



## 全国平均は昨年並みか

5教科900点集計の予想平均点は文系が547点(得点率61%)、理系が564点(得点率63%)となりました。前年比は、文系+7点、理系-6点で、文系は平均点アップ、理系は平均点ダウンの予想となりました。予想平均点を科目別にみると、国語(+10.8点)、生物(+8.5点)、数学ⅡB(+7.7点)は昨年度より大幅にアップしたものの、化学(-8.5点)、数学ⅠA(-6.3点)、英語リスニング(-4.4点)、現代社会(-4.0点)、英語筆記(-3.2点)などでダウンしました。

(パネッロポレーヨ) デーネットより)

## 個別学力試験に向け万全の対策を

現在3年生は、自己採点結果と進路検討会をうけ、学級担任との面談を経て、受験校の絞り込みを行っています。

また、1月19日からは二次対策特別授業が始まりました。2月25日(～26日)に行われる国公立大学前期試験の個別学力試験対策を中心に、各科目の演習に励んでいます。多くの受験生の学力が最も伸びるのは、センター試験後から個別試験までの約1ヶ月間です。センター試験は通過点に過ぎません。ここからが本当の勝負です。合格を信じ、受験校の過去問から出題傾向を分析し、万全の対策を行うことが大切です。

国公立大学では、前期日程だけではなく、中期日程(3月8日～9日)、後期日程(3月12日～13日)まで受験できます。最後まであきらめず粘り強く努力を続けることが大事です。

国公立大学の出願期間は、1月25日から2月3日までです。3年生の健闘を祈ります。

## センター試験まであと1年、あと2年

2年生はセンター試験まであと1年、1年生はあと2年となりました。3年生がセンター試験を終えて口にするのは、「本当にこの1年が早かった」ということです。特に、センター試験まであと100日という日から本番までは、「あっという間に過ぎた」と言っています。1、2年生ともにまだ先のことと考えず、今からしっかり準備をしておくことが大切です。

先日、1、2年生ともに進研模試を受けました。2年生は大雪のため2日目が延期となりましたが、無事に終了しました。やりっ放しになることなく、しっかり復習をして学力向上につなげましょう。

特に2年生は、「3年生の0学期」となりました。受験生として意識を高く持ち、学習していくことを期待します。

## 【1 学年部】

### 「楽しかった高校での勉強」

川崎 健朗

#### ■ 雪が降り積もる荘厳な雰囲気の中の勉強は格別

冬の引き締まる冷たさを感じると、自分が高校生だった当時のことを思い出します。30 数kmの距離を自転車+汽車(国鉄)+徒歩(走?)で、約1時間50分かけて通っていました。当時、住んでいたところは県北の田舎で、冬場になると早朝は氷点下が当たり前の地域でした。駅に自転車で向かう途中、路面の凍結で何回か転んだことを思い出します。自宅では暖房器具を一切使わず毛布にくるまり、部屋の窓を開けて勉強していました。煌めく星々を時折眺めながらの勉強は、なかなかよいものです。高校3年次のクリスマスイヴと大晦日の夜は、雪がしんしんと降り積もり、その荘厳な雰囲気の中での勉強も格別でした。

#### ■ “楽しそうに” 勉強する

さて、この「楽しかった勉強」というタイトルだけを見ると、『変わってるな〜』とか『苦しかったはずなのに、嘘じゃない?』と思われることでしょう。でも、“最終的には” 高校での勉強を楽しんでヤルことができました。『どうせやらなきゃならない勉強じゃないか。中途半端に嫌々やるくらいなら、思いっきりやる。将来好きに生きるために、好きに生きられないときがある。それが今なんだ。』等と自分自身に言い聞かせながら、周りの級友も一緒に巻き込んで“楽しそうに” 勉強することにしましたのです。休み時間等のすき間時間を利用して、お互いに質問し合ったり、競い合って問題を解いたりと学級のみんなで自主的に自学自習しました。時には教室全体が学習内容のクイズ大会と化して、大盛り上がりでした。そうしていくうち、面白いことに勉強することが本当に楽しく感じられ、学力もUP! してきたのです。自分の学年が最高の進路実績だったと、当時の先生方から聞いたことを覚えています。

今、頑張れないヤツは一生頑張れない。やりたくなくてもやらなければならないことを、一所懸命にやる。これを努力という。さあ、みんなも“楽しそうに” 勉強してみませんか。



### センター試験終了

— 3年生健闘する —

本格的な受験シーズンの皮切りとなる大学入試センター試験が1月16・17日に行われ、全国の会場で約56万人の受験生が試験に臨みました。

本校3年生は、鹿児島大学農学部で受験しました。1日目は天候に恵まれ穏やかな雰囲気の中、受験することができました。2日目は途中から小雨が降りましたが、体調不良や特別なトラブルもなく、2日間の試験を無事に終えることができました。



### 全国平均は昨年並みか

5教科900点集計の予想平均点は文系が547点(得点率61%)、理系が564点(得点率63%)となりました。前年比は、文系+7点、理系-6点で、文系は平均点アップ、理系は平均点ダウンの予想となりました。予想平均点を科目別にみると、国語(+10.8点)、生物(+8.5点)、数学ⅡB(+7.7点)は昨年度より大幅にアップしたものの、化学(-8.5点)、数学ⅠA(-6.3点)、英語リスニング(-4.4点)、現代社会(-4.0点)、英語筆記(-3.2点)などでダウンしました。

(バネコポレーヨ) デーネットより

### 個別学力試験に向け万全の対策を

現在3年生は、自己採点結果と進路検討会を受け、学級担任との面談を経て、受験校の絞り込みを行っています。

また、1月19日からは二次対策特別授業が始まりました。2月25日(～26日)に行われる国公立大学前期試験の個別学力試験対策を中心に、各科目の演習に励んでいます。多くの受験生の学力が最も伸びるのは、センター試験後から個別試験までの約1ヶ月間です。センター試験は通過点に過ぎません。ここからが本当の勝負です。合格を信じ、受験校の過去問から出題傾向を分析し、万全の対策を行うことが大切です。

国公立大学では、前期日程だけではなく、中期日程(3月8日～9日)、後期日程(3月12日～13日)まで受験できます。最後まであきらめず粘り強く努力を続けることが大事です。

国公立大学の出願期間は、1月25日から2月3日までです。3年生の健闘を祈ります。

### センター試験まであと1年、あと2年

2年生はセンター試験まであと1年、1年生はあと2年となりました。3年生がセンター試験を終えて口にするのは、「本当にこの1年が早かった」ということです。特に、センター試験まであと100日という日から本番までは、「あっという間に過ぎた」と言っています。1、2年生ともにまだ先のことと考えず、今からしっかり準備をしておくことが大切です。

先日、1、2年生ともに進研模試を受けました。2年生は大雪のため2日目が延期となりましたが、無事に終了しました。やりっ放しになることなく、しっかり復習をして学力向上につなげましょう。

特に2年生は、「3年生の0学期」となりました。受験生として意識を高く持ち、学習していくことを期待します。

## 【2学年】

国内体験学習（12月15日～18日、3泊4日）が終了して1ヶ月経ちました。楽しかった、思い出深かった、生涯忘れることのできない旅行になりました。皆さんは貴重な経験やこれからの進路を考えるヒントを数多く手に入れたことでしょう。ここでは、皆さんの「感想文」の一部を紹介したいと思います。是非、参考にしてみましょう。



…たくさんの思い出をつくることができました。高校生活最大のイベントが終わってしまって少し寂しい気がするが、今度は自分の力で志望大学に合格し、「東京」に行くぞ!と決意を新たにすることができました。ありがとうございました。(男子)



…あっという間の旅行だったけれども、一生の思い出になった。東京は鹿児島とは比べものにならないモノばかりであって、東京に対する憧れがますます大きくなった。この大都会に身を置いてみたいと素直に思う。今回の数々の体験で自分の進路に対する考えの幅が広がった。今後の高校生活や受験勉強の原動力として生かしていきたいと強く思う。(女子)

…最高裁判所では年に数回しか使用されない大法廷の見学をした。その後、国会議事堂を見学し、日本の司法と立法の頂点に足を踏み入れてゾクゾクした。改めて普段からもっとニュースや新聞などに目を通して世の中に対して興味や関心をもたなければならぬと痛感した。(男子)



…訪れた新日本科学では薬の安全性や内容等をクイズ形式でわかりやすく説明してもらいました。午後からアメリカに出発予定であった先輩であり、社長である永田さんから2つのアドバイスをもらいました。1つは英語の必要性について。日常生活に英語を取り入れていくと効果的に身につくということ。2つめは眠気のとり方について。その対処法としては、今まで考えていたこととは全く別のことを考えてみるということ。今後の受験勉強に生かせるヒントになりそうだと思います。(男子)

さまざまな体験や経験をとおして、自分が「感じたこと」や「考えたこと」を日常生活にどのように生かすのか、これが君たち一人ひとりに与えられた最重要課題になりました。思い出を語り合っただけで記念の写真を見ては「この時」を思い返して、自らの進路実現に向かって邁進してもらいたい。



### センター試験終了

— 3年生健闘する —

本格的な受験シーズンの皮切りとなる大学入試センター試験が1月16・17日に行われ、全国の会場で約56万人の受験生が試験に臨みました。

本校3年生は、鹿児島大学農学部で受験しました。1日目は天候に恵まれ穏やかな雰囲気の中、受験することができました。2日目は途中から小雨が降りましたが、体調不良や特別なトラブルもなく、2日間の試験を無事に終えることができました。



### 全国平均は昨年並みか

5教科900点集計の予想平均点は文系が547点(得点率61%)、理系が564点(得点率63%)となりました。前年比は、文系+7点、理系-6点で、文系は平均点アップ、理系は平均点ダウンの予想となりました。予想平均点を科目別にみると、国語(+10.8点)、生物(+8.5点)、数学ⅡB(+7.7点)は昨年度より大幅にアップしたものの、化学(-8.5点)、数学ⅠA(-6.3点)、英語リスニング(-4.4点)、現代社会(-4.0点)、英語筆記(-3.2点)などでダウンしました。

(パネコポレーヨ データネットより)

### 個別学力試験に向け万全の対策を

現在3年生は、自己採点結果と進路検討会をうけ、学級担任との面談を経て、受験校の絞り込みを行っています。

また、1月19日からは二次対策特別授業が始まりました。2月25日(～26日)に行われる国公立大学前期試験の個別学力試験対策を中心に、各科目の演習に励んでいます。多くの受験生の学力が最も伸びるのは、センター試験後から個別試験までの約1ヶ月間です。センター試験は通過点に過ぎません。ここからが本当の勝負です。合格を信じ、受験校の過去問から出題傾向を分析し、万全の対策を行うことが大切です。

国公立大学では、前期日程だけではなく、中期日程(3月8日～9日)、後期日程(3月12日～13日)まで受験できます。最後まであきらめず粘り強く努力を続けることが大事です。

国公立大学の出願期間は、1月25日から2月3日までです。3年生の健闘を祈ります。

### センター試験まであと1年、あと2年

2年生はセンター試験まであと1年、1年生はあと2年となりました。3年生がセンター試験を終えて口にするのは、「本当にこの1年が早かった」ということです。特に、センター試験まであと100日という日から本番までは、「あっという間に過ぎた」と言っています。1、2年生ともにまだ先のことと考えず、今からしっかり準備をしておくことが大切です。

先日、1、2年生ともに進研模試を受けました。2年生は大雪のため2日目が延期となりましたが、無事に終了しました。やりっ放しになることなく、しっかり復習をして学力向上につなげましょう。

特に2年生は、「3年生の0学期」となりました。受験生として意識を高く持ち、学習していくことを期待します。

## 【3学年部から】

### 1 51期生の現状と課題

#### (1) センター試験を終えて

1月16・17日のセンター試験、お疲れ様。16日は晴天に恵まれ暖かかったが、17日は冷たい雨に見舞われた。それでも粛々と試験場に向かう諸君の態度は素晴らしかった。結果として忘れ物や遅刻などのトラブルも皆無。スムーズに受験を終えることができた。寒空の中諸君を励ましてくださった担任や教科担の先生方にも感謝してほしいと思う。



↑今年のセンター試験(鹿児島大学農学部)

18日には自己採点を終えた。現時点での全国平均点分析としては、国語が易化、数学IA・化学が難化したが、合計の平均点は昨年と大きな差はないということが言える。

試験の結果については、出来不出来に執着しても始まらない。ベストを尽くした結果なのだから、ともかく現実を見て、今後の戦略を十分に検討することである。

#### (2) 今後の過ごし方について ～これからの1ヶ月で爆発的な成長を！～

センター試験の結果を受け、1月23日に最終進路判定会が行われた。これをもとに、志望校の最終確認・調整が既になされていることと思う。センター試験の結果ばかりに一喜一憂せず、各自の志望校に向けた二次対策に全力を傾注すること。諸君の一生に関わる一大事である。心して取り組もう。現在すでにセンター試験後の特別時間割が組まれており、それぞれ必要な教科・科目について皆熱心に受講しているところである。お互い受験に向けた良い雰囲気を醸成したいものである。

志望校について、前期で合格を勝ち取るのが理想ではあるが、中期・後期にももちろんチャンスはある。特に後期試験については、定員は少ないものの、本番では事前に発表される倍率よりもかなり低くなる傾向がある。また、合格可能性(A～E判定)についても予測はあくまで予測。すなわち、判定が悪くとも合格する可能性はあるということ。最後まであきらめないことだ。

**これからの1ヶ月は爆発的に学力が伸びるとき。可能性を信じて無我夢中で駆け抜けよう。**先生方も全力でサポートする。

そしていよいよ2月25・26日の前期試験。県外の大学について、宿泊・交通機関の手配などは大丈夫だろうか。受験時期は各地のホテル等は特に繁忙期となる。個人での手配が難しい場合は、旅行者へ相談する方法もある。当然、少なくない経済的な負担を伴うことになる。毎回述べているが、くれぐれも保護者への感謝の念を忘れず、最大限の力を発揮できるように努力したい。

前期試験を終えたらすぐに2月29日の同窓会入会式・卒業式予行。翌3月1日はいよいよ第51回卒業式。同日には公立大学の合格発表が行われる。そして3月6日以降、国立大学の合格発表が順次なされていく。先生方にとっても期待と緊張の時期である。見事栄冠を勝ち取った者には、担任から「先輩と語る会」(3月18日)への出席依頼がある可能性がある。その時はぜひ引き受けて、後輩たちを励ましていただきたい。

受験に明け暮れた3学年もいよいよ終盤にさしかかっている。画竜点睛を欠いて後悔することがないよう、最後まで全力を尽くそう！

### 2 平成28年2月の進路関係、その他の行事

- (1) 国公立大学出願締切(2月3日)
- (2) センターあり推薦入試(2月6日 合格発表は10日)
- (3) 国公立大学前期日程試験(2月25・26日)
- (4) 同窓会入会式・卒業式予行(2月29日)

